

研究会開催通知

(昭和58年10月15日～11月30日)

研究会	日	時	会場	備考
グラフィクスとCAD	10月17日(月)	13:00～17:00	名大	前号参照
自然言語処理	10月21日(金)	10:00～16:00	同上	同上
日本文入力方式	11月9日(水)	13:30～17:00	商業界会館	下記参照
データベース・システム	11月10日(木)	13:30～17:00	機械振興会館	同上
設計自動化	11月15日(火)	10:00～17:00	京大	同上
計算機アーキテクチャ	11月24日(木)	9:30～17:00	機械振興会館	同上
コンピュータビジョン	11月25日(金)	10:30～17:00	KDD研究所	同上
分散処理システム	11月25日(金)	9:00～15:00	長岡技科大	同上
知識工学と人工知能	11月28日(月)	10:00～17:00	東大	同上
マイクロコンピュータ	11月28日(月)	13:30～17:00	機械振興会館	同上
ソフトウェア工学	11月30日(水)	13:30～17:00	同上	同上

◆ 第12回 日本文入力方式研究会

(発表件数：4件)

(主査：高橋秀俊，幹事：坂下善彦，山田尚勇)

- 日時** 昭和58年11月9日(水) 午後1時半～5時
- 会場** 商業界会館 2階大会議室
 [東京都港区麻布台 2-4-9, 地下鉄：日比谷線神谷町, バス：渋谷一東京タワー線
 東京タワー, 等々力一東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車, 飯倉交差点角
 Tel. 03 (584) 7311]
- 議題**
- (1) 漢字階層コード方式 石川皓勇 (トッパン・ムーア)
 [概要] 高頻度漢字をカナ鍵盤四シフトに配置して直接に選択し, これらとの熟語・類義関係でその他の漢字を指定し, カナ表記される頻度でカナ配列した鍵盤でカナを打鍵する方式.
 - (2) 国語文における仮名の使用状況について 渡辺定久 (電総研), 中野 洋 (国立国語研)
 [概要] 国語文の仮名表記に必要な仮名の使用頻度, 接続出現確率について述べ, カナ鍵盤の操作性との関連について言及する.
 - (3) 3ストローク英字コードによる日本文入力法の検討 黒須正明, 大倉佳直, 吹抜敬彦 (日立)
 [概要] 漢字部は3ストローク英字コードで仮名部はローマ字入力による日本文入力法の検討.
 - (4) スクリプトを用いたオンライン手書入力実験 森下哲次 (富士通研)

〔概要〕 477字からなるスクリプト（漢字かな混り文）を用いた9名の被験者による認識実験の結果を示す。

◆ 第38回 データベース・システム研究会

（発表件数：4件）

（主査：酒井博敬，幹事：有澤 博，吉田郁三）

日 時 昭和58年11月10日（木）午後1時半～5時

会 場 機械振興会館 地下3階1号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8，地下鉄：日比谷線神谷町，浅草線大門，三田線御成門下車，国電：浜松町下車，バス：渋谷—東京タワー線東京タワー，等々力—東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車，Tel. 03 (434) 8211〕

議 題 (1) データベース設計用性能推定の一方式について

山多 昭，中野勝之，橋本正明（横須賀通研）

〔概要〕 データベース設計用ツールとして，精度の良いデータベース性能推定方式を実現したので報告する。

(2) リレーショナルモデルの統合性に関する一検証法

中野良平，長岡満夫（横須賀通研）

〔概要〕 リレーショナルモデルの統合性問題を一階述語論理を用いて整理し，統合性に関する一検証法を示す。

(3) タンデム ノンストップシステムにおける分散データベース

有田正史（日本タンデムコンピュータズ）

〔概要〕 タンデム・コンピュータ・システムにおける大量のトランザクション処理のための分散型リレーショナル・データベースの実現について述べる。

(4) MVS 環境でのリレーショナル・データベース管理システム—DB2, QMF, DXT

稲見千賀子，大沼啓希（日本 IBM）

〔概要〕 MVS 環境用のリレーショナル・データベース管理システムである DB2 と，その関連プログラムである QMF と DXT について述べる。

◆ 第19回 設計自動化研究会

（発表件数：6件）

（主査：山田昭彦，幹事：上原貴夫，和田 康）

日 時 昭和58年11月15日（火）午前10時～午後5時

会 場 京都大学工学部 情報工学教室第一講義室

〔京都市左京区吉田本町，国鉄：京都駅下車，市バス：17番（錦林車庫行）で農学部前下車（約30分），徒歩3分。地下鉄：北大路行にて今出川下車（約10分），烏丸今出川バス停より市バス203番にて農学部前下車（約10分），徒歩3分，Tel. 075 (751) 2111〕

議 題 (1) 機能およびタイミングの抽象化が可能なハードウェア設計言語について

蚊野 浩，安浦寛人，矢島脩三（京大・工）

〔概要〕 論理回路を一つのオブジェクトとみ，入力パターンを系列をオブジェクトに対するアクセス法であると考えることにより，機能・タイミングの抽象化が可能な言語について考察する。

- (2) データフローマシンを用いた故障シミュレーション・システム
 中田恒夫, 藤田昌宏, 田中英彦, 元岡 達 (東大・工)
 [概要] 故障シミュレーションを手続きレベルデータフローマシン上で並列に処理するシステムについて述べる。
- (3) 完全検出率達成のための検査容易化設計
 本原 章, 藤原秀雄 (阪大・工)
 [概要] 若干の付加ハードウェアにより, 打切故障をなくし, 100% の検出率を達成する検査容易化設計法を紹介する。
- (4) 大規模高密度レイアウトプログラム—ALPHA 2—
 北沢仁志, 安達 徹, 上田和宏 (厚木通研)
 [概要] 多層配線, 高密度なブロック間配線法を用いた階層的レイアウトプログラムを提案し, 実行例, 従来手法との比較を示す。
- (5) グリッドフリー・チャンネル配線の一手法
 米田 浩, 小嶋 格, 林 正樹, 久保 登,
 千葉 徹, 犬伏恒雄 (シャープ)
 [概要] 高密度配線を実現するためにグリッドフリー配線プログラムを開発した。アルゴリズムの概要と実験結果を示す。
- (6) MOS マスク解析における論理検証
 羽山 繁, 渡里祐子, 京井淳子, 間野洋治郎 (松下電器)
 [概要] MOSLSI のマスクパターンを解析し, 接続情報, 容量等を算出し, 更にロジックゲートを認識してマスクの論理検証を行う。

◆ 第 43 回 計算機アーキテクチャ研究会

(発表件数: 未定)

(主査: 飯塚 肇, 幹事: 坂村 健, 大島一純)

- 日 時 昭和 58 年 11 月 24 日 (木) 午前 9 時半～午後 5 時
 会 場 機械振興会館 地下 3 階研修 2 号室 (所在地は前記参照)
 議 題
- (1) 画像プロセッサ MN 8614 の処理方式 川上 桂 (松下技研)
 [概要] 画像用の LSI プロセッサを開発した。画像処理のアルゴリズムを工夫し, マイクロプログラムで実現した。
- (2) 記憶階層構成に関する一検討
 木ノ内康夫, 山口 博, 小橋喜嗣, 櫻井紀彦 (横須賀通研)
 [概要] 主記憶およびファイル系諸装置よりなる階層構成について, 有用な評価手法を提案し, これを用いた各装置の適用領域など 2～3 の検討結果について述べる。
- (3) データフローアーキテクチャにおける先行評価, 遅延評価機構とその並列推論制御への応用 雨宮真人, 長谷川隆三, 清木 康 (武蔵野通研)
 [概要] データ駆動と要求駆動を融合させたデータ・フロー・モデルを提案し, 先行評価 (Eager Evaluation) と遅延評価 (Lazy Evaluation) 機構との関係を明らかにするとともに, その並列推論制御への適用について述べる。

* 今回の研究会は, 電子通信学会電子計算機研究会と共催で開催いたします。上記の会告

は、9月5日現在の申込によるもので、プログラムは議題をアイウエオ順にならべた暫定的なものです。上記日以降の申込分を含めた最終的なプログラムは、電子通信学会誌10月号に掲載されますので、ご了承下さい。

◆ 第27回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数：6件)

(主査：辻 三郎，幹事：木戸出正継，杉原厚吉)

- 日時 昭和58年11月25日(金) 午前10時半～午後5時
- 会場 国際電電(KDD)研究所 第一会議室
〔東京都目黒区中目黒 2-1-23, 国鉄：恵比寿駅西口下車，地下鉄：日比谷線恵比寿下車，山手線の外側三井銀行の左を入り，徒歩8分，Tel. 03 (713) 0111〕
- 議題 (1) メディアンフィルタの輪郭抽出処理におよぼす影響
後藤敏行，鳥生 隆，山本栄一郎(富士通研)
〔概要〕 メディアンフィルタで処理された画像の高次統計量を解析することで，メディアンフィルタによる輪郭線処理への最適効果を推定する。
- (2) MSM 心線データを用いた図形操作 若山忠雄(横須賀通研)
〔概要〕 二値図形の心線抽出法“MSM法”で得られる心線データを用いた，図形の膨張・収縮，輪郭・凸包算出等の図形操作法を述べる。
- (3) 頭蓋骨図形データベースシステムのインプリメンテーション
金森吉成(東北大・歯)，増永良文(図情大)，野口正一(東北大・通研)
〔概要〕 頭蓋骨図形を対象とした図形用の関係データベースシステムをミニコンピュータ上に PASCAL を用いてインプリメントした。
- (4) 物体の剛体性と無限遠点を利用した3次元運動の解析
遠藤博之，北橋忠宏(豊橋技科大)
〔概要〕 三面世界の物体を対象として，その剛体性および無限遠点(透視図的変形)を利用することによって物体の3次元運動を解析する。
- (5) 線積分，面積分による3次元運動の解析 金谷健一(群大・工)
〔概要〕 空間を運動する面の2次元画像上で線積分，面積分を計算することにより対応点を知ることなく運動を知る一般理論とその応用。
- (6) 動画像処理シミュレータにおけるソフトウェアおよび性能評価
羽鳥好律，金子正秀(KDD研)
〔概要〕 大容量の画像メモリを有した動画像シミュレータにおけるソフトウェアの取り扱い，および同装置を用いた画像処理の性能評価について述べる。
- (7) 動画像処理シミュレータの見学

◆ 第20回 分散処理システム研究会

(発表件数：7件)

(主査：野口正一，幹事：白鳥則郎，河岡 司)

- 日時 昭和58年11月25日(金) 午前9時～午後3時
- 会場 長岡技術科学大学 電気棟6F会議室
〔新潟県長岡市上富岡町字長峰 1603-1, 国鉄：長岡駅西口下車，越後交通バス2番線にて親沢，小国行乗車30分，富岡下車徒歩10分または長岡駅よりタクシ

20分. Tel. 0258 (46) 6000]

議 題

- (1) DCNA プロトコルによる網内ファイル共有の実現について
村田憲司, 高橋章二, 森原一郎 (横須賀通研)
〔概要〕 DCNA プロトコルを用いて網内ファイル共有を可能とするためのシステム構成法, プロファイル値の選択法について述べる.
- (2) マルチプロセッサ形パケット交換方式のプロセッサ間通信プロトコル
浜田 晃, 金重州起, 西脇峰雄 (武蔵野通研)
〔概要〕 多数のプロセッサを高速リンク結合したシステムの, プロセッサ間通信プロトコルを性能・信頼性などの観点から検討・評価する.
- (3) データ通信システムへのネットワークアーキテクチャ部端末アクセス法の導入方式
南部 明, 寺元 仁 (横須賀通研)
〔概要〕 データ通信システムにネットワークアーキテクチャに基づく効率の良い端末アクセス法を適用する際のプロトコル, 実現方式を述べる.
- (4) ネットワークアーキテクチャ端末導入に伴う端末アクセス法の保証処理方式
柴垣 齊, 郷原純一 (横須賀通研)
〔概要〕 データ通信システムの DCNA 化の過程と, 過渡期において必要な端末アクセス法の保証処理について, 設計条件, 実現方式を述べる.
- (5) ドキュメント・アーキテクチャを考慮したテレマティックサービスのプロトコル
中尾康二, 小花貞夫, 浦野義頼 (KDD)
〔概要〕 テレマティックサービスにおける文書構造を明らかにし, 端末間又は端末-DB 間の通信プロトコルを総合的に体系化したものである.
- (6) ローカルネットワークに基づいた電子メールシステム
関根博之, 五反田隆広, 相田 潔, 佐久間幹郎 (沖電気)
〔概要〕 ローカルネットワークに基づいた電子メールシステムの構築における問題点, 通信と処理の方式, 性能等を示す.
- (7) 計算機網におけるトラヒック優先権に基づくバッファ管理を用いた輻輳制御
Ruttikorn Varakulsiripunth, 白鳥則郎, 野口正一 (東北大・通研)
〔概要〕 計算機網において, トラヒックの輻輳を回避し, 同時にスループットを向上させるという立場から, 輻輳制御方式 (PF-C 方式) を提案し, 定量的に評価する.

◆ 第 32 回 知識工学と人工知能研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 志村正道, 幹事: 石塚 満)

- 日 時 昭和 58 年 11 月 28 日 (月) 午前 10 時～午後 5 時
- 会 場 東京大学工学部 境界領域研究施設会議室
〔東京都目黒区駒場 4-6-1, 小田急線: 東北沢下車, 徒歩 7 分. Tel 03 (485) 3111〕
- 議 題 (1) MANDALA: Concurrent Prolog 上の知識表現システム
古川康一, 竹内彰一, 国藤 進 (ICOT)
〔概要〕 Concurrent Prolog 上に対象指向, データ駆動型の知識表現システムを試作したので, そのあらましを紹介する.

(2) Prolog による推論機構と関係データベースの結合

横田治夫, 国藤 進, 柴山茂樹, 宮崎収兄,
角田健男, 村上国男 (ICOT)

〔概要〕 推論マシンと関係データベースマシンにより知識ベース機構を実現する時の両マシン間のインタフェースを提案する。

(3) 言語情報の学習について 牧野武則 (日電・C&C 研)

〔概要〕 自然言語処理では, 大規模でかつ精密な言語辞書を作成する必要がある, このため, 言語現象から, 自動的に言語情報を学習する能力の確立が望まれる. ここでは, 言語学習の可能性について議論する。

(4) 第 8 回 人工知能国際会議報告 横井俊夫, 向井国昭 (ICOT)

〔概要〕 西独カールスルーエで行われた IJCAI-83 に参加する機会をもったもので, そこで取り上げられた話題について報告する。

(5) パネル討論: 知識工学の現状と展望

・パネリスト 大須賀節雄 (東大), 森 健一 (東芝), 古川康一 (ICOT),
上原貴夫 (富士通), 小山照夫 (浜松医大), 鳥居宏治 (電総研)

◆ 第 29 回 マイクロコンピュータ研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 安田寿明, 幹事: 脇 英世, 斉藤 剛)

日 時 昭和 58 年 11 月 28 日 (月) 午後 1 時半～5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室 (所在地は前記参照)

議 題 (1) H-Prolog system について 中村克彦 (電機大・理工)

〔概要〕 Prolog 言語で普及しつつあるのは, エジンバラ大版である. これはスタック依存度の高い特色がある. H-Prolog は, ハッシュ記憶でこれを改善し, 効率化をはかった. 処理系は C 言語で記述され, ポータビリティも高い。

(2) 日本語プログラミング言語「和漢」 鈴木孝則 (国際データ機器)

〔概要〕 関数型言語で日本語文記述の ALF を CP/M-86, MS・DOS 制御下で動作させるのが「和漢」である. その言語体系と, 処理系の概要について述べる。

(3) 開発用言語 ZIL の現状と展望 平野文信 (アドテック)

〔概要〕 日本独自で開発された 80 系開発用言語 ZIL は, 実務ベースでの愛用者人口が, きわめて大きい. その実状と, 言語体系, さらに将来の発展動向について発表する。

(4) 人名に付属する多数のアトリビュートごとの仮想ランダムファイルを同時に OPEN できる処理系 佐々木彬夫 (佐々木彬夫事務所)

〔概要〕 人名に付属する多数のアトリビュートごとに任意のレコード長の仮想ランダムファイルを同時に OPEN するシステムを実作した。

◆ 第 33 回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数：4 件)

(主査：木村 泉，幹事：久保未沙，花田収悦)

- 日 時 昭和 58 年 11 月 30 日 (水) 午後 1 時半～5 時
- 会 場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室 (所在地は前記参照)
- 議 題 (1) 電子メールシステムにおけるメールボックス設計の一手法
落水浩一郎，田中 勝，平田明良，今泉恵美子 (静岡大・工)
- [概要] 画情報を含む送受信メールを管理し，アルゴリズム実行の流れに沿って情報を授受するメールボックスについて Parnas モジュールに基づく設計結果.
- (2) ソフトウェアプロトタイピングの現状と GPSS を用いた一手法の提案
伊藤 潔 (上智大・理工)，田畑孝一 (図書館情報大)
- [概要] ソフトウェアプロトタイピングの現状の概説と，特に設計時に有効と考えられる GPSS を用いた一手法の提案.
- (3) 標準パターンによるプログラミング支援ツール：SPISE-II
会田一夫，大筆 豊，小尾俊之 (東芝)
- [概要] 定型パターンを標準プログラム部品として利用する規律をプログラミング活動に与えて開発の省力化・品質の向上を狙いとするツール
- (4) 工業用計算機のソフトウェア開発支援オンラインシステム
—HONEST— (仮題) 小山 深，田中裕平 (富士ファコム制御)
- [概要] プロセス制御を主目的とする工業用計算機システムの開発において，プログラムの実行をターゲットマシンで行い開発作業をホストで支援する支援環境.

◆ 知識工学と人工知能研究会

第 33 回 研究会は 59 年 1 月 26 日 (木)，於大阪大学基礎工学部で開催いたします。論文発表希望者は，10 月末日までに事務局研究会係までお申込下さい。

会員事務の EDP 化について

前号本欄でお知らせしましたとおり、9月から会員事務を EDP 化いたしました。これに伴い会員番号をはじめ事務の取扱いが変更されました。とくに会誌の配布、会費の徴収が一括扱いの会員は、購読誌（論文誌・欧文誌）の配布、購読費の徴収も一括扱いとなりますので、ご了承ください。

1. **会員番号が7桁に統一されました。**（末尾の1桁は新に付与したチェックデジットです。）新しい会員番号を会誌送付用封筒の宛名ラベルでご確認ください。今後会員事務に関するご連絡、お問合せは新会員番号でお願いいたします。
2. 購読誌（論文誌・欧文誌）の送本先が会誌の送本先に統一されます。購読費は会費と合算して同時に請求いたします。なお、会費または購読費のいずれか一方でも4か月以上滞納になりますと、会誌・購読誌とも送本停止となります。
3. 送本先、住所等の変更の受付は毎月20日で締切り、翌月号から変更いたします。したがって21日以降の受付分の変更処理は翌々月号からとなります。
4. 電算機への登録につきましては十分チェックいたしましたが、万一以下のことがあります際には、お手数ですが前号に挿入の「はがき」により、ご連絡ください。
 - (1) 宛名ラベルに誤りがある（郵便番号、住所、所属、氏名等）。
 - (2) 会誌が2冊送付された。
 - (3) 会誌が届かない。
 - (4) 購読誌（論文誌 Vol. 24, No. 5）が届かない。
 - (5) 購読していないのに論文誌（同上）が送付された。

第14回画像工学コンファレンス

前号本欄でお知らせした標記コンファレンスは11月15日締切りで開催されます。詳細は前号本欄をご参照のうえ、早目にお申込みください。

- 期 日** 昭和58年12月8日（木） 9:20~18:10（懇親会 18:30~20:30）
9日（金） 9:00~18:40
- 会 場** 農協ホール（東京・大手町・農協ビル9階）'83国際画像機器展と併催
- 参加費** 加盟学会員 8,000円、学生会員 4,000円、会員外 9,000円、懇親会費 3,500円
- 申込方法** (1) 申込書に必要事項を記載し、参加費をそえてお申込み下さい。
(2) 申込期限 11月15日（火）
(3) 申 込 先 〒105 東京都港区芝大門 2-3-14 一松ビル1号館402号
「第14回画像工学コンファレンス事務局」 Tel. 03 (433) 2544

情報処理学会第 27 回 全国大会（昭和 58 年後期）開催案内

前号本欄にてプログラムを含め詳細なご案内をいたしました，再度要点についてお知らせいたします。

期 日	昭和 58 年 10 月 18 日（火）～20 日（木）
会 場	名古屋大学工学部（名古屋市千種区不老町）
総 受 付	名古屋大学工学部 7 号館玄関内
参 加 費	会 員 1,000 円（賛助会員は 1 口 1 名として正会員に準じます）。
	非会員 2,000 円
論文集代	定 価 6,000 円

（当日，予約者以外にお頒けできるのは，残部のある場合に限りです）。

講演者の変更 パネル討論「スーパーコンピュータへの期待」の講演者上村鉄雄氏（名大）は都合により天野恒雄氏（名大）と交替いたします。

◎参加される方は，総受付にて参加費を納め，参加章を受けとってください。参加章を胸につけていないと会場に入れません。ただし，**大会初日（18日）午前**の会長挨拶および特別講演に限り，参加章なしでも入場を認めますので，直接豊田講堂においでください。

交通案内

名古屋駅から地下鉄東山線にて本山駅下車徒歩（約 15 分），または本山から 78 番系統・新瑞橋行あるいは 84 番系統・島田住宅行バスにて名古屋大学前下車（全国大会プログラム会場案内図参照）。

その他の一般注意

1. 昼食は学内食堂（プログラムの会場案内図参照）が利用できます。関連機器展示会は講堂ロビー，休憩室は講堂および工学部 4 号館 3 階 432 号室にありますので，ご利用ください。
2. 電話の呼び出しはいたしません，万一止むを得ない場合のみ，下記の電話を利用してください（掲示のみいたします）。Tel. 052 (781) 9434
3. 駐車場はありませんので，自家用車による参加は厳禁します。

情報処理学会第28回全国大会論文募集要領

- 開催期日** 昭和59年3月13日(火)～15日(木)
- 会場** 電気通信大学(調布市調布ヶ丘)
- 応募資格** 本学会個人会員(正会員, 学生会員)に限ります。共同発表の場合には, 登壇発表者は会員でなければなりません。なお, 58年度会費未納の会員は, 登壇発表ができません。また, 登壇発表者の入会手続が未了の場合には申込を受付けません。入会申込書がご入用の方は返信用封筒(60円切手貼付, あて名記入)同封のうえお申出ください。
- 申込料** 不要です。ただし, 登壇発表される方は, 論文集原稿を提出する際に, 必ず参加費を納入してください。
- 申込方法** 添付の講演申込用紙(1件1枚)に必要事項を記入し, 宛先明記の原稿用紙送付用封筒(大きさA4判…21cm×30cmのもの, 切手は不要)を同封のうえ, 58年11月14日(月)までに(必着), 下記申込先へお送りください。登壇発表は1人3件以内とし, 2件以上の場合は同時にお申出ください。申込締切後の変更は一切受付ません。
- 論文提出** 所定の原稿用紙を12月下旬に送付しますので, 昭和59年1月23日(月)までにご提出ください。発表は日本語または英語で行うものとしますので, 論文は日本語または英語に限ります。ただし, 登壇発表者の入会手続が未了の場合には, 原稿用紙を送付しませんので, ご留意ください。
- 申込先** 〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 308-3号室
(社)情報処理学会 第28回全国大会係 電話 03(431)2808

~~~~~論文該当分野~~~~~

1. 基礎
 - a. 計算理論, b. アルゴリズム
 - c. プログラム理論, d. その他
2. アーキテクチャおよびハードウェア
 - a. システムアーキテクチャ, b. 演算装置
 - c. 記憶装置, d. 入出力装置, e. 端末装置, f. 性能評価, g. 信頼性, h. 保守技術, i. マイクロプログラミング
 - j. スーパーコンピュータ, k. その他
3. ソフトウェア
 - a. オペレーティングシステム, b. プログラミング言語, c. 言語処理, d. 性能評価
 - e. 信頼性, f. ソフトウェア工学
 - g. その他
4. データベース
 - a. データベースマシン, b. データマネジメント, c. 分散データベース
 - d. 性能評価, e. 情報検索, f. その他
5. コンピュータネットワークおよび分散処理
 - a. システム, b. アーキテクチャ
 - c. プロトコル, d. 性能評価, e. その他
6. パターン処理および人工知能
 - a. 文字認識, b. 画像処理, c. 自然言語理解, d. 音声, e. 人工知能・知識工学
 - f. ロボット, g. その他
7. 日本語処理
 - a. 文解析合成, b. 字づら処理・辞書
 - c. 入出力, d. その他
8. 数値計算
9. マイクロコンピュータ
10. オフィスシステム
11. 技術, 産業への応用
 - a. CAD, b. CAM, c. グラフィックス
 - d. シミュレーション, e. その他
12. 社会システムへの応用
13. その他

6th ICSE Panel Sessions Proceedings の頒布について

昨年9月、学習院大学で開催の第6回ソフトウェア工学国際会議(6th ICSE)におけるパネル討論(7件)の内容が、関係者のご尽力によりこのたび Proceedings (A 4判, 79 p.)として再現されました。まことに貴重な資料ですので、下記によりお頒けいたします。

本会議の Proceedings をお持ちの方は、本資料を補充され、一体として完全な論文集とされることをお勧めします。

記

(1) 本会議に参加された方には無料贈呈します(郵送希望の際には、送料400円(切手可)をご負担ください)。

(2) 非参加の方は、定価1,000円、送料400円で販売します。

(3) 申込み方法

B 5判用紙に所要事項をご記入のうえ、なるべく現金書留にてご送金ください。

なお、下記資料も若干余部がありますので、お申込みください。

○本会議 Proceedings (469 p. A 4判)

会員特価 7,300円(定価 9,000円), 郵送料 500円

○Poster Session Proceedings (119 p. A 4判)

会員特価 1,800円(定価 2,200円), 郵送料 400円

○第6回 ICSE 講習会テキスト (231 p. B 5判)

会員特価 2,200円(定価 3,000円), 郵送料 400円

本会協賛の行事案内

	(開催期日・場所)	(主催・問合せ先)
第4回 ORセミナ ORマンと情報処理技術 者のための乱数講座	昭和58年11月24日(木) ~25日(金) 日本アイ・ピー・エム(サイ エンス・インスティテュート・ セミナールーム)	(社)日本オペレーションズ・ リサーチ学会 Tel. 03 (815) 3351
昭和58年度 応用物理学会特別公開 講演会	昭和58年11月25日(金) 学習院創立百周年記念会館	(社)応用物理学会 Tel. 03 (434) 6659
セミナ 画像処理の基礎と応用	昭和58年11月24日(木) ~26日(土) 国民宿舎 熱海ビレッジ	(社)テレビジョン学会 Tel. 03 (432) 4677

「データベース」シンポジウム開催のお知らせ

4月号本欄でお知らせしました標記のシンポジウムを行います。詳しいプログラムについては次号本欄に掲載いたします。なお、定員に制限がありますので、早目にお申込みください。

記

日 時 昭和58年12月7日(水), 8日(木) 9:00~17:00
場 所 機械振興会館大ホール(地下2階)

プログラム

・サーベイセッション

データベース工学の現状と展望(仮題)

植村 俊亮(電総研)

OAとデータベース(仮題)

有澤 博(横浜国大)

・パネル討論 データモデリングとデータベース設計(司会) 穂鷹 良介(筑波大)

・一般論文発表(予定9編)

参加費 正会員および賛助会員(1口1名) 10,000円 非会員 15,000円
学生会員 5,000円

申込締切 昭和58年11月18日(金)(定員150名に達し次第, 締切らせていただきます。)

申込方法 B5判用紙(会誌大)に「データベース・シンポジウム申込み」と標記し,
①氏名, ②会員資格, 会員番号, ③連絡先(Tel.), ④送金額を記入し, なるべく現金書留か, 郵便振替(口座東京5-83484)でお申込みください。

注)

1. 銀行送金される方は, 払込み月日と銀行名をお知らせください(本会取扱銀行名は, 本号1301ページを参照のこと)。
2. 請求書類の必要なかたは, お申出ください。

「グラフィックスと CAD」シンポジウム開催のお知らせ

標記シンポジウムに関して、多数の論文をご応募頂き誠に有難うございました。論文審査の結果、下記要領でシンポジウムを開催致しますので、多数の方々のご参加をお願いいたします。

日 時 昭和 58 年 12 月 1 日 (木) 9:00~19:00
2 日 (金) 9:00~17:00

場 所 機械振興会館大ホール (地下 2 階)

協 賛 日本機械学会, 精機学会, 計測自動制御学会, 電子通信学会, 建築学会, 日本グラフィックデザイナー協会

参加費 会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 5,000 円 (協賛学協会員は会員に準ずる.)

申込締切 昭和 58 年 11 月 15 日 (火) (申込書は「情報処理」9 月号にあります.)

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第 1 日 12 月 1 日 (木)

- 開 会 (9:00~9:20) 司会 松家 英雄 (日本アイ・ビー・エム)
- グラフィックスの利用と研究 穂坂 衛 (東京電機大)
- セッション 1 3 次元モデリング (その 1) (9:20~10:55) 座長 中嶋 正之 (東工大)
- 基本変形操作を用いた形状設計過程の一表現法 千代倉弘明, 木村 文彦 (東大)
 - スケッチ風入力によるソリッドモデラの開発
広谷 豊史, 福井 幸男, 大平 智弘, 岸 義樹 (製科研)
 - ソリッド CAD システムの研究開発
藤井 貞雄, 田中 豊, 中嶋 秀一, 赤塚 浩一, 岡崎 定明 (富士通)
- セッション 2 3 次元モデリング (その 2) (10:55~12:30) 座長 出澤 正徳 (理研)
- 機械設計用 CAD/CAM システムの開発
小堀 研一, 佐藤 好信, 長田 義弘, 西岡 郁夫 (シャープ)
 - ビジョンシステムにおける 3 次元モデルの利用
白井 良明, 越川 和忠, 大島 正毅, 池内 克史 (電総研)
 - グラフィックスと CAD 教育の一試行について 長島 忍, 磯田 浩 (東大)
- 昼 食 (12:30~13:30) ビデオショー——
- 招待講演 (13:30~14:30) 司会 穂坂 衛 (東京電機大)
- トヨタ自動車における CAD/CAM 一昨日, 今日, 明日—
大原 正志 (トヨタ自動車)
- セッション 3 応用システム (14:30~17:00) 座長 難波田 愈 (日電)
- 地理情報システムとその応用
笠原 裕, 霧谷 建之, 宮下 敏昭, 平林扶佐子 (日電)
 - 地図・空中写真の位置合せ 藤村 是明 (電総研)
 - 制御設計の自動化システムについて 保谷 征男 (JBA), 栗野 好一 (石州島播磨)
 - パソコンによるタイムチャートエディタ 大川 健三 (日電)
 - 高機能対話型グラフィック画面生成システム
辻 秀一, 植木 雄二, 梁田 和彦, 加藤 彰朗 (三菱電機)
- パネル討論 (17:00~19:00)
- 設計室の将来像—Professional Work Station— 司会 服部 幸英 (東洋情報)
- 井越 昌紀 (機振協技研), 池戸 恒雄 (サイラック), 内田光太郎 (リコー)

佐藤 武彦 (山武エンジニアリング), 高橋 政一 (三菱電機)

第2日 12月2日 (金)

セッション 4 基礎及び表示技術 (9:00~11:10) 座長 川合 慧 (東大)

- デジタル多項式のコンピュータ・グラフィックスへの応用
中嶋 正之, 安居院 猛 (東工大)
- Multiprocess-Message Model of Graphic System 今宮 淳美 (山梨大)
- 分類的手法による隠れ線・面消去アルゴリズムの創成
山口富士夫, 時枝 敏也 (九州芸工大)
- 透明物体表示のための改良光線追跡法

安田 孝美 (三重大), 横井 茂樹, 鳥協純一郎 (名大)
鶴岡 信治, 三宅 康二 (三重大)

- 質感表現シェイディングモデル 大平 智弘 (製科研)

セッション 5 アニメーション (11:10~12:30) 座長 池田 克夫 (筑波大)

- フレームバッファシステムにおける動画の表示技術 国分 明男 (電総研)
- 衝突検出機構を用いた動作シミュレーションシステム

内木 哲也, 大橋 敏明, 所 真理雄 (慶応大), 和田 浩 (富士通)

- 3次元アニメーション用モデリング言語 村上 公一, 松本 均 (富士通研)

——昼食 (12:30~13:30) ビデオショー——

セッション 6 ワークステーション (13:30~15:10) 座長 栗原 基 (東芝)

- エンジニアリング・ワークステーションの一構成法 井越 昌紀 (機振協技研)
- 3次元色彩図形を実時間表示するマルチプロセッサシステム EXPERTS のハードウェア構成 今井 慈郎 (詫間電波高専), 村上 昌義 (日本電子科学)
福西 孝, 大谷 浩司, 新實 治男, 富田 真治, 萩原 宏 (京大)
- ビットマップメモリ付レーザープリンタによるグラフィック及びイメージ処理
村山 登, 佐藤 勉, 伊藤 正博, 佐藤 敬 (リコー)
- 設計図面の自動入力について 恒川 尚 (東芝)

セッション 7 データベース及び知識工学 (15:10~17:00) 座長 棟上 昭男 (電総研)

- CAD のための data metamodel 柳生 孝昭 (日本ユニパック)
- エンジニアリング・データベースのメタ情報構造
川越 恭二, 浜川 礼, 真名垣昌夫 (日電)
- 知識工学と CAD—機械設計におけるインテリジェント CAD の考え方
富山 哲男, 吉川 弘之 (東大)
- 概念設計における知識表現とその利用 岸 義樹 (製科研)
- 論理プログラミングを基礎とした設計システム
長澤 勲, 古川由美子, 荒牧 重登 (九大)

◇—————◇—————◇—————◇—————◇

〈ビデオ・ショー〉 昼食時間帯を中心として、最新のコンピュータ・グラフィックスの成果を
ご覧いただけるよう、ビデオの上映を行います。

論文誌および欧文誌のご購読について

論文誌「情報処理学会論文誌」(隔月刊)および欧文誌“Journal of Information Processing”(略称 JIP・季刊)は下記のとおり、有料頒布となっております。

新規に購読を希望される会員は下記の申込書(コピーにて可)にて、お申込みください。
郵便振替口座番号、取扱銀行、送金先等は本号 1301 ページにあります。

年間講読料	会 員	非 会 員
論 文 誌	4,500 円	7,800 円
欧 文 誌	3,000 円	6,000 円 (海外 7,000 円)

昭和 年 月 日

論文誌・欧文誌購読申込書

下記により購読を申込みます。(該当欄を○で囲む)

1. 氏 名 _____ 会員 (正, 学生, 賛助)・非会員

連絡先 (〒 _____)

電話 _____

送本先 (〒 _____)

注) 会員には会誌の送付先に送本いたしますので、送本先の記入は不要です。

2. 購読希望誌 (申込月の翌月以降の発行誌から送本します。送本希望欄は特に必要な場合のみ記入)

a. 情報処理学会論文誌 (_____ 巻 _____ 号から送本希望)

b. 欧文誌“Journal of Information Processing”(_____ 巻 _____ 号から送本希望)

3. 送金の方法

¥ _____ 也をつぎによって送金いたします。(送金月日 _____ 月 _____ 日)

a. 現金書留 d. 郵便振替 c. 銀行振込 (_____ 銀行宛)

4. その他 (学会事務局への連絡事項)

支 部 だ よ り

九州支部講演会

日 時 昭和 58 年 11 月 11 日 (金) 14:00~16:00
場 所 九州大学大型計算機センター 多目的講習室 (3階)
講 演 者 中所 武司 (日立製作所)
演 題 プログラミング言語とその会話型支援環境
参 加 費 無料 (参加資格は問いません)
問 合 先 九州大学中央計数施設内支部事務局 Tel. 092 (641) 1101 (内 5986)

日 時 昭和 58 年 11 月 17 日 (木) 13:30~15:30
講 演 者 佐藤 雅彦 (東京大学)
演 題 論理プログラム言語 QUTE
場所・参加費・問合せは前記に同じ。

東北支部研究会

日 時 昭和 58 年 11 月 22 日 (火) 13:00~17:00
場 所 岩手大学工学部情報工学科ゼミナール室 (3階)
発表論文 7~8 件の予定 (30分/件)
備 考 発表を希望される方は、支部事務局へ申し込んで下さい。
(締切は 10 月 31 日 (月)) Tel. 0222 (22) 1800 (内線 4301, 4298)

東北支部研究講演会

日 時 昭和 58 年 10 月 25 日 (火) 13:30~15:00
場 所 岩手大学工学部 17 番階段教室
講 演 者 佐藤利三郎 (東北大学工学部)
演 題 衛星によるコンピュータ・ネットワークについて (仮題)

日 時 昭和 58 年 11 月 29 日 (火) 14:30~16:30
場 所 仙台電波工業高等専門学校 視聴覚教室
講 演 者 大林 辰蔵 (文部省宇宙科学研究所)
演 題 スペースシャトル計画をめぐって (仮題)

欧文誌の原稿募集について

1978年4月に欧文誌“Journal of Information Processing”を創刊いたしました。同誌に論文発表を希望される会員は、下記を参照のうえ原稿を寄せられるようご案内いたします。

1. 欧文誌発行の目的

わが国の情報処理の研究水準向上のため、情報処理に関する諸研究の国際交流をはかる。

2. 発行計画

- (1) 50ページ×4回/年=200ページ, A4判
- (2) 純学術研究発表誌とし、PaperとShort Noteを募集する。
 - (i) Paper(原則として刷上り8ページ以内)——「情報処理」掲載の論文と同じ査読規準に基づき、欧文誌編集委員会で採録を認められた欧文論文。
 - (ii) Short Note(2ページ以内に限る)——「情報処理」掲載のショート・ノートに準じて、採録を認められた欧文による小論文

3. 「情報処理」との関連

PaperとShort Noteの和文アブストラクトを「情報処理」に掲載する。

4. 論文原稿の書き方

- (1) 用紙はA4判(21cm×30cm)の白紙を使い、1行65ストローク、ダブルスペースで上下3cm(強)の余白を残し、パラグラフは初めを5~6字分あける。この様式で原稿をタイプした場合(図表なしで)24枚で、欧文誌刷上り8ページに当る。なお文章中指定のない場合の記号は立体、数式中の記号は(イタリック)となる。
- (2) 査読の都合上、タイトル、氏名、所属およびアブストラクトを和英両語で別紙に記述する。なお和文アブストラクトは英文アブストラクトの邦訳とする。
 - (i) Paperのアブストラクト——200語以内
 - (ii) Short Noteのアブストラクト——50語以内
- (3) 図表(写真を含む)は、完成図(そのまま縮小製版できるもので、縮版した場合の希望のできあがり寸法を指定する。なお、文字は縮版のさいも読める大きさに書く。)を本文と別にし、説明文は別紙にまとめてタイプし、本文の末尾につける。ただし原稿中に図表のそう入場所を指定する。
- (4) 寄稿のさいキーワード表を添付する。(用紙は欧文誌係にご請求ください。)

5. 原稿の送付

- (1) コピー4部を送付する。
- (2) 送付先: 情報処理学会「欧文誌係」

〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3号

6. 別刷料

下記の通り別刷100部を印刷実費の一部として、ご負担いただきます。

ページ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
別刷料	5,000	10,000	15,000	20,000	25,000	30,000	35,000	40,000	55,000	70,000